**日本監査役協会**

**監査役会等の実効性評価と監査活動の振り返りについての**

**アンケート調査**

多くの監査役等は、監査計画の策定にあたり、前年度の監査計画及び実績の分析・評価（監査活動の振り返り）の結果を踏まえ、重要課題の設定、往査先の選定などを行い、次期の監査計画に反映しています(「多様化するリスクの把握と監査活動への反映及びその開示」日本監査役協会ケース・スタディ委員会2023年11月30日参照）。その中でも近年、監査活動の振り返りからさらに踏み込み、法令やコーポレートガバナンス・コードでは要請されていない監査役会等の実効性評価を実施する企業も増えています。本調査は、監査役会等の実効性評価及び監査活動の振り返りの実施状況を把握して、その実態の紹介や今後の評価活動への取組みに関する提言を取りまとめることを目的としております。

　調査対象として、本会会員のうち上場会社である監査役会設置会社、監査等委員会設置会社および指名委員会等設置会社の方々に、ご協力をお願いしております。

**ご回答期間　　2024年５月２０日（月）～６月７日（金）**

ご回答は、**１社１回答**でお願いいたします。

**お問合せ先e-mail:** [**section2@kansa.or.jp**](mailto:section2@kansa.or.jp)

　ご回答いただいた内容は、個人や企業名が特定される形で公表されることは一切ありません。

　また、この調査でご回答いただいた内容を、当協会で実施する別の調査や研究で活用させていただくことがあります。その場合でも、個人や企業名が特定される形で公表されることは一切ありません。

なお、個別のご回答内容を第三者に提供することは一切ありません。

（全員回答）

属 性

F1. 機関設計（１つ選択）

1. 監査役会設置会社　　　2. 監査等委員会設置会社　　3. 指名委員会等設置会社

F2. 市場区分（１つ選択）

1. プライム市場　　　2. スタンダード市場　　　　3. グロース市場

4. その他上場

F3. 資本金区分（１つ選択）

　　　1. 5億円未満 　　　　 　　 2. 5億円以上10億円未満

3. 10億円以上50億円未満　　　　 　4. 50億円以上100億円未満

5. 100億円以上1,000億円未満　　　 6. 1,000億円以上

F4. 業種（１つ選択）

　　1. 製造業　　　　　　2. 非製造業

F5. 監査役等の人数（数値入力）

1. 総数（　　）名　　　2. うち常勤者（　　）名　　　3. うち社外者（　　）名

※「監査役等」は監査役、監査等委員および監査委員を指します。

F6. 監査役等スタッフ人数（数値入力）

　1. 総数（　　）名　　　2. うち専任者（　　）名　　　3．うち兼任者（　　）名

F7. 自社の位置づけ（１つ選択）

　1. 最終親会社である　　　2. 子会社である　　　　3．親会社・子会社はない

F8. 決算月（数値入力）

【　　　】月

※以降の質問では、「監査役」及び「監査役会」については、貴社の機関設計に応じて監査等委員会または監査委員会に読み替えてご回答ください。

**Ⅰ 監査役会の実効性評価の実施**

**（1）実効性評価の実施の有無について**

（全員回答）

**Q1 「監査役会の実効性評価」を実施していますか。**（１つ選択）

本調査でいう「監査役会の実効性評価」とは、当期の監査役会の構成・運営や各監査役の監査活動等の実績について、チェックリストを用いるなど各社適宜の方法により網羅的に評価して、次期の監査計画への反映及び識別された課題の改善につなげる一連の活動であり、監査役会の実効性向上とステークホルダーからの信頼の獲得を目的とした「実効性評価」と称するものを指します。

※指名委員会等設置会社の方は、「取締役会の実効性評価」の評価項目に監査委員会が含まれている場合は1を選択してください。

1．「実効性評価」を実施している　　→P4「実効性評価への質問」Q2-1へ

1. 「実効性評価」までは実施していないが、監査活動の振り返りやレビューなどは実施している（以下「監査活動の振り返り」という。）

→P17「振り返りへの質問」Q2へ

1. 特段の活動は行っていない　　　→P28へ

監査役会の実効性評価への質問

P4～P16は、Q1で「1．『実効性評価』を実施している」を選択した方がご回答ください。

**（2）実効性評価の方法について**

（全員回答）

**Q2-1　監査役会の実効性評価は今までに何回実施しましたか（現在実施中のものも含む）。**

　　　【　　　】回　　（数値入力）

**Q2-2**　**監査役会の実効性評価は毎年実施していますか。**（1つ選択。数値入力）

　　1．毎年

2．【　　　】年ごと

3.　その他（自由記述）

**Q3-1　監査役会の実効性評価の評価項目の検討から評価結果の取りまとめまでは、どのくらいの期間を要していますか。開始月と終了月を入力してください。**（数値入力）

1か月以内の場合は、例えば「4月～4月」のように同じ月を入力してください。

【　　】月～【　　】月

**Q3-2　上記の評価最終月は、翌期の監査計画の策定の何か月前ですか。**（1つ選択。数値入力）

1. 策定前　【　　】か月前
2. 策定後　【　　】か月後
3. 同時
4. その他（自由記述）

（全員回答）

**Q4-1　誰が監査役会の実効性を評価していますか。**（複数選択可）

　　1．監査役会による自己評価

2. 第三者機関による第三者評価

3．その他（自由記述）

**Q4-2　実効性評価のプロセスにおいて、補佐や助言などの関与をしている方はいますか。**（複数選択可）

　　1．第三者機関（Q4-1で「2」に該当する場合を除く）

　　2．監査役会の事務局（スタッフ）（取締役会事務局も含む）

　　3．その他（自由記述）

　　4．特になし

（全員回答）

**Q5-1　監査役会の実効性評価の手法として、実施しているものを選択してください。**

（複数選択可）

　　1．監査役が対象のアンケート（チェックリストその他書面による調査も含む）

　　　　　　　　　　　　　　 →Q5-2→Q6-1へ

　　2．監査役以外を対象としたアンケート　　→Q5-2→Q6-1へ

　　3．監査役が対象のインタビュー、ヒアリング　　　　　　→Q5-2→Q7-1へ

　　4．監査役以外を対象としたインタビュー、ヒアリング　　→Q5-2→Q7-1へ

　　5．監査役会での意見交換、議論　　→Q8へ

　　6.　その他（自由記述）　　　　　 →Q8へ

（Q5-1で1～4を選択した方）

**Q5-2 アンケートやインタビューの項目を検討する際に、参照した資料などはありますか。**（複数選択可）

1. 他社のアンケート案などを見ながら検討を重ねて自社用にアレンジした。
2. 第三者機関の用意したアンケート案などを基に、自社用のアンケート案等にカスタマイズした。
3. その他（自由記述）
4. 特に参照したものはない

（Q5-1で1または2「アンケート」を選択した方）

**Q6-1 直近の実効性評価におけるアンケートの質問数は何問ですか。**（数値入力1以上）

　　　【　　】問

（Q5-1で1または2「アンケート」を選択した方）

**Q6-2 アンケートの作成者は誰ですか。**（複数選択可）

　　1．監査役

2．第三者機関

3．監査役スタッフ

4.　その他（自由記述）

（Q5-1で1または2「アンケート」を選択した方）

**Q6-3 アンケートの回答方法はどのようなものですか。**（複数選択可）

　　1．段階的評価（5段階評価など）　　2．二択式（〇/×、Yes/No、など）

　　3．記述式　　　　　　　　　　　　 4．その他（自由記述）

（Q5-1で**2**を選択した方のみ）

**Q6-4** **監査役以外を対象としたアンケートの対象者は誰ですか。**（複数選択可）

　　1．社外取締役（監査等委員・監査委員を除く）

2．社内取締役　　　　　　 3．執行役員

4．グループ会社の社長　　　　　　　 　　 5．グループ会社の監査役

6．監査役会の事務局（スタッフ） 　7．内部監査部門等

8．会計監査人　　　　　　　　　　　　　　9.　その他（自由記述）

（Q5-1で3または4「インタビュー等」を選択した方）

**Q7-1 インタビューの実施者（聞き手）は誰ですか。**（複数選択可）

1．常勤監査役（社外常勤も含む）

2．社外非常勤監査役

3．社外取締役（監査等委員・監査委員を除く）

4．監査役会の事務局（スタッフ）

5．第三者機関

6．その他（自由記述）

（Q5-1で4を選択した方のみ）

**Q7-2 監査役以外を対象としたインタビューの対象者は誰ですか。**（複数選択可）

　　1．社外取締役（監査等委員・監査委員を除く）

　 2．社内取締役　　　　　　 3．執行役員

4．グループ会社の社長　　　　　　　 　　 5．グループ会社の監査役

6．監査役会の事務局（スタッフ） 　7．内部監査部門等

8．会計監査人　　　　　　　　　　　　　　9.　その他（自由記述）

（全員回答）

**Q8　監査役会の実効性評価の評価項目（アンケートやインタビューの質問項目****、また協議した項目など）として、当てはまるものを選択してください。**（複数選択可）

　右端のチェック欄（✓）に〇や✓などを入力してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| カテゴリー | 内　容 | ✓ |
| 監査役会の独立性 | 執行側からの独立性、監査役の選任プロセス、監査役の報酬決定プロセス等 |  |
| 監査役会の構成 | 監査役の人数、スキル、多様性、社外・独立役員の割合など |  |
| 監査役スタッフの人数、スキルなど |  |
| 監査役会の運営 | 監査役会の開催回数、審議時間、出席率、資料の事前送付など |  |
| 監査計画・重点項目の適切性、職務の分担、リスクアプローチなど |  |
| 審議・報告・決議事項等 |  |
| 研修等によるスキル向上、監査役会の予算確保、監査環境の改善など |  |
| 社外監査役の情報量確保・連携など |  |
| 取締役会への出席等 | 取締役会への出席、監督、発言など |  |
| その他重要会議への出席等 | 経営会議その他重要会議への出席、発言、関与等 |  |
| 社外取締役との連携 | 社外取締役との連携、意見交換、情報提供など |  |
| 三様監査の連携 | 会計監査人との連携、意見交換、情報共有など |  |
| 内部監査部門との連携、意見交換、情報共有など |  |
| 監査活動  監査活動（続き） | 代表取締役・業務執行取締役との意見交換・提言・助言等 |  |
| グループ監査、子会社監査、事業所往査、子会社監査役との連携など |  |
| コーポレートガバナンス・コードへの対応 |  |
| 会計監査人の選解任、監査報酬 |  |
| 内部統制システムの整備・運用状況の監査 |  |
| 不祥事防止・対策、再発防止策の確認など |  |
| 法令遵守・コンプライアンス・リスク管理等の監視 |  |
| ITガバナンス・情報システム体制等の監視 |  |
| サステナビリティ課題への対応の有効性 |  |
| 内部通報の確認、対応 |  |
| 情報開示の監視・検証、事業報告・計算書類の監査、有価証券報告書・コーポレートガバナンス報告書など開示資料の確認等 |  |
| 経営計画やその運営状況の注視 |  |
| 社外への  報告・対話 | 株主総会への対応、株主との対話など |  |
| 監査報告（監査意見の形成過程の確認等） |  |
| その他 | （自由記述） |  |

【その他の記載欄】

（全員回答）

**Ｑ9　評価項目の策定において、どのような事項を考慮しましたか。また参照した資料などはありますか。**（複数選択可）

　　1．監査役会の独立性、中長期的な監査役会の構成など

2．監査役会が果たすべき職責・役割など

　　3．当期の重点監査項目、重要なリスク・課題など

　　4．前期の実効性評価での課題や改善事項

　　5．監査役会のリソースや内部監査の体制等の監査環境

　　6．自社のガバナンスの状況など

7．自社のおかれた状況、事業環境など

　　8．中期経営計画など

9．他社の監査役会実効性評価の開示例、資料など

10．第三者機関からのアドバイス、資料など

11．投資家からの要請等

12．その他（自由記述）

（全員回答）

**Q10　監査役会の実効性評価に際して、自社の統制状況（自社固有のリスクとそのリスクに対する統制の整備・運用状況）を考慮した監査活動が行われているか検証していますか。**

（1つ選択）

　　1．実効性評価時にも十分検証して評価している

2. 監査計画策定時に十分検討しているので、実効性評価に際しては特に検証して

いない

3. 特に検証していない

4. その他（自由記述）

（全員回答）

**Q11　貴社では取締役会の実効性評価は実施されていますか。**（1つ選択）

1．実施している

2．実施していない

**（3）第三者機関について**

Q12～Q18までは、Q4-1(評価者)またはQ4-2(補佐・助言者)で「第三者機関」を選択した方が回答してください。

Q4-1またはQ4-2で「第三者機関」を選択していない方は、Q19に進んでください。

**Ｑ12　第三者機関を利用する目的はどのようなものですか。**（複数選択可）

1. 評価項目の設定やアンケート作成に関する知見・助言
2. 他社の監査役会の運営や監査に関する情報、比較分析資料の入手等
3. 自社の優れた点及び課題や改善策の指摘等
4. 第三者による客観的・公平な評価の実施
5. 執行部門に対する提言等の客観性や説得力の強化

6．他社の監査役会実効性評価の結果との比較

7．その他（自由記述）

**Q13　監査役会の実効性評価における第三者機関の業務内容として、当てはまるものを選択してください。**（複数選択可）

　　1．質問作成（アンケート、インタビュー等）

2．インタビュー等の実施（聞き手）

　　3．アンケート等の集計

　　4．集計結果の分析、評価

　　5．課題・改善点の提示

6．課題・改善点への助言、対応策等の提示

7．他社事例の提示

　　8．アドバイス（質問作成・実施等への助言など）、補佐的業務

　9．その他（自由記述）

**Q14　監査役会の実効性評価における第三者機関の役割として、当てはまるものを選択してください。**（複数選択可）

1. 会社が行う実効性評価の実施プロセス及び評価結果について、第三者機関から意見・助言を入手している。
2. 第三者機関が手続きのみ実施し、会社が当該手続きの評価及び最終的な評価を行っている。
3. 第三者機関が評価した上で、その結果を踏まえて会社が最終的な評価をしている。
4. 第三者機関が評価し、かつ最終的な評価もしている。

　　　5．その他（自由記述）

**Q15　第三者機関はどのような組織ですか。**（1つ選択）

1. 監査法人系コンサルティング会社
2. 1以外のコンサルティング会社

　　3．弁護士（事務所）

　　4．その他（自由記述）

**Ｑ16　第三者機関に支払った費用について、差し支えなければお答えください。**（1つ選択）

1. 百万円未満
2. 百万円以上～3百万円未満
3. 3百万円～5百万円未満
4. 5百万円以上10百万円未満
5. 10百万円以上
6. 不明、無回答
7. その他（自由記述）

**Q17　第三者機関を利用したことにより、どのような利点がありましたか。または課題や問題点はありますか。**

**Ｑ18-1　第三者機関は毎年利用していますか。**（1つ選択）

　　1．毎年　　→Q18-2へ　　　　　　　　2．数年ごと　　→Q18-3へ

　　3．その他（自由記述）　→Q21へ

（Q18-1で「1．毎年」を選択した方のみ）→回答後はQ21へ

**Ｑ18-2　第三者機関を今後も継続的に利用しますか。**（1つ選択）

1. 今後も毎年利用する予定
2. 当面は毎年利用するが、その後は利用頻度を下げる予定
3. 今後の利用頻度は検討中
4. 未検討、未定

（Q18-1で「2．数年毎」を選択した方のみ）→回答後はQ21へ

**Ｑ18-3　第三者機関を今後も継続的に利用しますか。**（1つ選択）

1. 今後も数年毎に利用する予定
2. 今後は利用頻度を変更する予定
3. 今後の利用頻度は検討中
4. 未検討、未定

（Q19とQ20は、Q4-1またはQ4-2で「第三者機関」を選択していない方が回答）

**Q19　現在、監査役会の実効性評価において第三者機関を利用していない理由はどのようなものですか。**（複数選択可）

1. 第三者からの確認・評価を受けなくても、自社の監査役会の課題は十分認識しているため
2. 他社事例や専門的な知見のある社外監査役がいるので、第三者機関を利用しなくても公平な確認・評価が可能なため

3．費用がかかるため

　　4．第三者機関に関する情報がないため

5．過去に利用したことはあるが課題があったため

6．利用を検討したことがない

7．その他（自由記述）

**Q20　今後、第三者機関に監査役会の実効性評価を依頼する予定はありますか。**（1つ選択）**また、その理由や、依頼する目的や業務等についてどのように考えていますか。**

　　1．予定はある(その理由等について自由記述)

　　2．検討中

3．特に予定はない

**（4）実効性評価の結果などについて**

（全員回答）

**Q21　監査役会の実効性評価に際して、特に高く評価した項目を下記の評価項目のカテゴリーから選択のうえ**、**具体的な内容についてご記入ください。**(複数選択可)

**また****、第三者機関から高く評価された内容やその理由があればご記入ください。**

|  |  |
| --- | --- |
| 監査役会の独立性 |  |
| 監査役会の構成 |  |
| 監査役会の運営 |  |
| 取締役会への出席等 |  |
| その他重要会議への出席等 |  |
| 社外取締役との連携 |  |
| 三様監査の連携 |  |
| 監査活動 |  |
| 社外への報告・対話 |  |
| その他 |  |

（回答例）

・監査を通じて発見した課題について経営陣への指摘を行った。

・子会社監査役との連携を深めグループ全体への監査を強化した。

（全員回答）

**Q22　監査役会の実効性評価に際して、課題がある、改善が必要との評価に至った項目はありますか。**（1つ選択）

　　　1．ある（あった）　　　　　2．特にない

**「1. ある**（あった）**」場合、それはどのような内容ですか。下記の項目から選択のうえ、具体的な内容についてご記入ください。**(複数選択可)

**また、第三者機関から課題、あるいは改善が必要と指摘された内容やその理由があればご記入ください。**

|  |  |
| --- | --- |
| 監査役会の独立性 |  |
| 監査役会の構成 |  |
| 監査役会の運営 |  |
| 取締役会への出席等 |  |
| その他重要会議への出席等 |  |
| 社外取締役との連携 |  |
| 三様監査の連携 |  |
| 監査活動 |  |
| 社外への報告・対話 |  |
| その他 |  |

(回答例)

・監査役会の討議のための資料が事前に送付されず、十分な議論ができていない。

（全員回答）

**Q23　監査役会の実効性向上のためには、何が重要となると考えますか。**

（全員回答）

**Q24　監査役会の実効性評価の実施により、どのような効果がありましたか。**

（回答例）

・評価作業を行うことで、改めて監査の実施の有無やその水準について検討、議論ができ、自社の問題点や課題の議論が整理された。

・第三者機関から助言を得ること、あるいは他社の状況を入手することで実効性向上に向けての新たな自社の問題点や課題の気づきになった。

・実効性評価の開示により投資家等に対する監査活動の説明を充実させることで、ステークホルダーからの信頼感の向上につながった。

・投資家等に対して監査役会の実効性向上の取り組みを説明しやすくなった。

（全員回答）

**Q25　監査役会の実効性評価に対する感想や意見はありますか。また、実効性評価自体への課題や改善点はありますか。**

（Q2-2(実効性評価の実施頻度)で「1．毎年」を選択した方のみ）

**Q26-1　監査役会の実効性評価は今後も毎年実施する予定ですか。**（1つ選択）

　　　1．当面毎年実施する予定

　　　2．今後は実施頻度を下げる（ことも検討する）予定

　　　3．検討中

　　　4．未検討、未定

（Q2-2(実効性評価の実施頻度)で「2．数年ごと」を選択した方のみ）

**Q26-2　監査役会の実効性評価は今後もQ2-2で回答の年数おきに実施する予定ですか。**

（1つ選択）

　　　1．当面従来通りで実施する予定

　　　2．今後は実施頻度を変更する（ことも検討する）予定

　　　3．検討中

　　　4．未検討、未定

**Ⅱ 監査役会の実効性評価の開示**

（全員回答）

**Q27　監査役会の実効性評価の結果は、社内に報告していますか。**（1つ選択）

　　1．報告している →Q28へ

　　2．報告していない　　→Q29へ

**Q28　社内での報告先はどこですか（監査役会を除く）。**（複数選択可）

　1．取締役会

2. 代表取締役等

3. 社外取締役

4．内部監査部門

1. その他（自由記述）

（全員回答）

**Q29　監査役会の実効性評価については、社外に開示していますか。**（1つ選択）

※監査役会の審議事項等の1つとして記載している場合、その他「監査役会の実効性評価」の単語のみ記載している場合も、「1．開示している」を選択してください。

　　1．開示している →Q30-1へ

　　2．開示していない　　→Q30-2へ

（Q29で１を選択した方）

**Q30-1　監査役会の実効性評価の開示媒体として、当てはまるものを選択してください。**（複数選択可）

　　1．有価証券報告書

2．自社のホームページ

3．コーポレートガバナンス報告書

4.　事業報告(株主総会招集通知)

5．その他（自由記述）

（Q29で2を選択した方）→回答後は終了

**Q30-2　監査役会の実効性評価について今後開示を予定・検討している媒体があれば、当てはまるものを選択してください。**（複数選択可）

　　1．有価証券報告書

2．自社のホームページ

3．コーポレートガバナンス報告書

4.　事業報告(株主総会招集通知)

5．その他（自由記述）

　　6．開示は今のところ予定していない

（以降はQ29(社外への開示)で「1.開示している」を選択した方のみ）

**Q31　監査役会の実効性評価結果の開示における記載事項として、当てはまるものを選択してください。**（複数選択可）

1．実効性評価の目的、意義等

2．実効性評価の評価方法（アンケート、インタビュー等）

3．実効性評価の評価項目

4．実効性評価の結果

5．課題・改善点等

6．次期の監査計画・重点監査項目等への反映

7．第三者機関の利用

8．実効性評価を実施したことのみを記載

9．監査役会の審議事項などの1つとして記載

10．その他（自由記述）

**Q32**　**監査役会の実効性評価について社外に開示したのはどのような理由からですか。**(複数選択可)

1. 投資家等の社外のステークホルダーに対して、監査役会が実効性向上に取り組んでいることを説明するため
2. 監査役会が取締役会に劣らず実効性の向上に努めていることを強調するため
3. 監査役会の取組みとして開示することが重要だから
4. 金融庁が監査役会の活動状況の開示の好事例として取り上げているから（※）
5. 第三者の客観的な評価など外部の目を取り入れている姿勢をアピールするため
6. 第三者機関からの助言による
7. その他（自由記述）

※金融庁「記述情報の開示の好事例集2023『7．監査の状況』の開示例」2024年3月8日参照。

実効性評価へのアンケートは以上です。

監査活動の振り返りへの質問

P17～P27は、Q1で「2．『監査活動の振り返り』を実施している」を選択した方がご回答ください。

**（2）監査活動の振り返りの方法について**

（全員回答）

**Q2　監査活動の振り返りは何月に実施していますか。数か月にわたる場合は、何月から何月までですか。**（どちらか当てはまる方に数値を入力）

1．1か月以内　【　　】月

2．２か月以上　【　　】月～【　　】月

**Q3　上記の振り返りの作業の最終月は、翌期の監査計画の策定の何か月前ですか 。**（1つ選択。数値入力）

　　　1.　策定前　【　　】か月前

2.　策定後　【　　】か月後

3.　同時

4.　その他（自由記述）

（全員回答）

**Q4　監査活動の振り返りの手法として、実施しているものを選択してください。**（複数選択可）

1. 監査役会での意見交換、議論　→Q7へ
2. 各監査役からの報告書 　　　　→Q7へ
3. 監査役が対象のアンケート（チェックリストその他書面による調査も含む）

　　→Q5-1

　　4．監査役以外を対象としたアンケート　　→Q5-1へ

　　5．監査役が対象のインタビュー、ヒアリング　　→Q6-1へ

　　6．監査役以外を対象としたインタビュー、ヒアリング　　→Q6-1へ

　　7.　その他（自由記述）

（Q4で3または4を選択した方）

**Q5-1　直近で実施した振り返りのアンケートの質問数は何問ですか。**（数値入力）

　　　【　　】問

（Q4で3または4を選択した方）

**Q5-2　アンケートの作成者は誰ですか。**（複数選択可）

　　1．監査役　　　　2．第三者機関　　　　3．監査役スタッフ

4．その他（自由記述）

（Q4で3または4を選択した方）

**Q5-3　アンケートの回答方法はどのようなものですか。**（複数選択可）

　　1．段階的評価（5段階評価など）　　 2．二択式（〇×、Yes/No、など）

　　3．記述式　　　　　　　　　　　　 4．その他（自由記述）

（Q4で4を選択した方のみ）

**Q5-4　監査役以外を対象としたアンケートの対象者は誰ですか。**（複数選択可）

　　1．社外取締役（監査等委員・監査委員を除く）

2．社内取締役　　　　　　　　　　　　 3．執行役員

4．グループ会社の社長　　　　　　　 5．グループ会社の監査役

6．監査役会の事務局（スタッフ） 7．内部監査部門等

8．会計監査人　　　　　　　　　　　　 9.　その他（自由記述）

（Q4で5または6を選択した方）

**Q6-1　インタビュー等の実施者（聞き手）は誰ですか。**（複数選択可）

1．常勤監査役（社外常勤も含む）　　 　　2．社外非常勤監査役

3．社外取締役（監査等委員・監査委員を除く）

4．監査役会の事務局（スタッフ）　　　 　5．第三者機関

6．その他（自由記述）

（Q4で6を選択した方のみ）

**Q6-2**　**監査役以外を対象としたインタビュー等の対象者は誰ですか。**（複数選択可）

　　1．社外取締役（監査等委員・監査委員を除く）

2．社内取締役　　　　　　　　　　　　　 3．執行役員

4．グループ会社の社長　　　　　　　　　 5．グループ会社の監査役

6．監査役会の事務局（スタッフ） 7．内部監査部門等

8．会計監査人　　　　9．その他（自由記述）

（全員回答）

**Q7　監査活動の振り返りの評価項目（アンケートやインタビューの質問項目、また協議した項目など）として、当てはまるものを選択してください。**（複数選択可）

　右端のチェック欄（✓）に〇や✓などを入力してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| カテゴリー | 内　容 | ✓ |
| 監査役会の独立性 | 執行側からの独立性、監査役の選任プロセス、監査役の報酬決定プロセス等 |  |
| 監査役会の構成 | 監査役の人数、スキル、多様性、社外・独立役員の割合 |  |
| 監査役スタッフの人数、スキルなど |  |
| 監査役会の運営 | 監査役会の開催回数、審議時間、出席率、資料の事前送付など |  |
| 監査計画・重点項目の適切性、職務の分担、リスクアプローチなど |  |
| 審議・報告・決議事項等 |  |
| 研修等によるスキル向上、監査役会の予算確保、監査環境の改善など |  |
| 社外監査役の情報量確保・連携など |  |
| 取締役会への出席等 | 取締役会への出席、監督、発言など |  |
| その他重要会議への出席等 | 経営会議その他重要会議への出席、発言、関与等 |  |
| 社外取締役との連携 | 社外取締役との連携、意見交換、情報提供など |  |
| 三様監査の連携 | 会計監査人との連携、意見交換、情報共有など |  |
| 内部監査部門との連携、意見交換、情報共有など |  |
| 監査活動 | 代表取締役・業務執行取締役との意見交換、提言・助言・指摘等 |  |
| グループ監査、子会社監査、事業所往査、子会社監査役との連携など |  |
| コーポレートガバナンス・コードへの対応 |  |
| 会計監査人の選解任、監査報酬 |  |
| 内部統制システムの整備・運用状況の監査 |  |
| 不祥事防止・対策、再発防止策の確認など |  |
| 法令遵守・コンプライアンス・リスク管理等の監視 |  |
| ITガバナンス・情報システム体制等の監視 |  |
| サステナビリティ課題への対応の有効性 |  |
| 内部通報の確認、対応 |  |
| 情報開示の監視・検証、事業報告・計算書類の監査、有価証券報告書・コーポレートガバナンス報告書など開示資料の確認等 |  |
| 経営計画やその運営状況の注視 |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 社外への  報告・対話 | 株主総会への対応、株主との対話など |  |
| 監査報告（監査意見の形成過程の確認等） |  |
| その他 | （自由記述） |  |

【その他の記載欄】

（全員回答）

**Ｑ8　評価項目の策定において、どのような事項を考慮しましたか。また参照した資料などはありますか。**（複数選択可）

　　1．監査役会の独立性、中長期的な監査役会の構成など

2．監査役会が果たすべき職責・役割など

　　3．当期の重点監査項目、重要なリスク・課題など

　　4．前期の監査活動の振り返りでの課題や改善事項

　　5．監査役会のリソースや内部監査の体制等の監査環境

　　6．自社のガバナンスの状況など

7．自社のおかれた状況、事業環境など

　　8．中期経営計画など

9．他社の監査役会実効性評価等の開示例、資料など

10．第三者機関からの資料、アドバイスなど

11．投資家からの要請等

12．当期の実施内容を振り返っているので、特段の評価項目や協議項目の検討は行っていない

13．その他（自由記述）

**Q9　監査活動の振り返りに際して、自社の統制状況（自社固有のリスクとそのリスクに対する統制の整備・運用状況）を考慮した監査活動が行われているか検証していますか。**（1つ選択）

　　1. 振り返り時にも十分検証して意見交換している

2. 監査計画策定時に十分検討しているので、振り返りに際しては特に検証して

いない

3. 特に検証していない

4. その他（自由記述）

**Q10　貴社では取締役会の実効性評価は実施されていますか。**（1つ選択）

1．実施している

2．実施していない

**（3）第三者機関について**

（全員回答）

**Q11　監査役以外で、監査活動の振り返りに関与している方（補助・助言のほか、積極的な役割も含む）はいますか。**（複数選択可）

　　1．第三者機関　　　　　→Q12へ

　　2．監査役の事務局（スタッフ）（取締役会事務局も含む）→Q17へ

　　3．その他（自由記述）　→Q17へ

　　4．特になし　　　　　　→Q17

（Q12～Q16までは、Q11で「1. 第三者機関」を選択した方が回答してください。）

**Ｑ12　第三者機関を利用する目的はどのようなものですか。**（複数選択可）

1．振り返り項目の設定やアンケート作成に関する知見・助言

2．他社の監査役会の運営や監査に関する情報、比較分析資料の入手等

3．自社の優れた点及び課題や改善策の指摘等

4．第三者による客観的・公平な意見

5．執行部門に対する提言等の客観性や説得力の強化

6．他社の監査活動の振り返り結果との比較

7．その他（自由記述）

**Q13　監査活動の振り返りにおける第三者機関の業務内容として、当てはまるものを選択してください。**（複数選択可）

　　1．質問作成（アンケート、インタビュー等）

2．インタビュー等の実施（聞き手）

　　3．アンケート等の集計

　　4．集計結果の分析、評価

　　5．課題・改善点の提示

6．課題・改善点への助言、対応策等の提示

7．他社事例の提示

　　8．アドバイス（質問作成・実施等への助言など）、補佐的業務

　　9．その他（自由記述）

**Q14　第三者機関はどのような組織ですか。**（1つ選択）

　　1．監査法人系コンサルティング会社

　　2．1以外のコンサルティング会社

3．弁護士（事務所）

　　4．その他（自由記述）

**Ｑ15　第三者機関に支払った費用について、差し支えなければお答えください。**（1つ選択）

1． 百万円未満

2． 百万円以上～3百万円未満

3． 3百万円～5百万円未満

4． 5百万円以上10百万円未満

5．10百万円以上

6． 不明、無回答

7． その他（自由記述）

**Q16　第三者機関を利用したことにより、どのような利点がありましたか。または課題や問題点はありますか。**

**（4）監査活動の振り返りの結果などについて**

（全員回答）

**Q17　監査活動の振り返りにおいて、特に高く評価した項目を下記の評価項目のカテゴリーから選択のうえ**、**具体的な内容についてご記入ください。**(複数選択可)

**また、第三者機関から高く評価された内容やその理由があればご記入ください。**

|  |  |
| --- | --- |
| 監査役会の独立性 |  |
| 監査役会の構成 |  |
| 監査役会の運営 |  |
| 取締役会への出席等 |  |
| その他重要会議への出席等 |  |
| 社外取締役との連携 |  |
| 三様監査の連携 |  |
| 監査活動 |  |
| 社外への報告・対話 |  |
| その他 |  |

（回答例）

・監査を通じて発見した課題について経営陣への指摘を行った。

・子会社監査役との連携を深めグループ全体への監査を強化した。

（全員回答）

**Q18　監査活動の振り返りにおいて、課題がある、改善が必要との評価に至った項目はありますか。**（1つ選択）

　　　1．ある（あった）　　　　　2．特にない

**「1.ある**（あった）**」場合、それはどのような内容ですか。下記の項目から選択のうえ、具体的な内容についてご記入ください。**(複数選択可)

**また、第三者機関から課題、あるいは改善が必要と指摘された内容やその理由があればご記入ください。**

|  |  |
| --- | --- |
| 監査役会の独立性 |  |
| 監査役会の構成 |  |
| 監査役会の運営 |  |
| 取締役会への出席等 |  |
| その他重要会議への出席等 |  |
| 社外取締役との連携 |  |
| 三様監査の連携 |  |
| 監査活動 |  |
| 社外への報告・対話 |  |
| その他 |  |

（回答例）

・監査役会の討議のための資料が事前に送付されず、十分な議論ができていない。

（全員回答）

**Q19　監査活動の振り返りの実施により、どのような効果がありましたか。**

（回答例）

・アンケートの実施により、より客観的に評価することができた。

・振り返りを行うことで、改めて監査の実施の有無やその水準について検討、議論ができ、自社の問題点や課題の議論が整理された。

・振り返りで確認した課題を、次期の重点監査項目や監査計画の策定に活用できた。

（全員回答）

**Q20　監査活動の振り返りに対する感想や意見はありますか。改善点はありますか。**

（全員回答）

**Q21　現在、監査役会の実効性評価を実施していない理由はどのようなものですか。当てはまるものを選択してください。**（複数選択可）

1.　振り返りの実施により実効性は十分向上しているため

2. 実効性評価は特に要請されていないため

3. 実効性評価の実施方法がわからないため

4. アンケートの作成や評価作業を行うリソースがないため

5. 第三者機関に委託すると費用がかかるため

6. その他（自由記述）

（全員回答）

**Q22　今後実効性評価を実施しようとするためには、何が不足しているとお考えですか。当てはまるものを選択してください。**（複数選択可）

1.　網羅的な評価項目のリスト等

2.　評価方法や評価基準の考え方

3.　インタビューやアンケートの回答を評価するためのスキル

4.　アンケートの作成や評価作業を行うためのリソース

5.　自社のリスクに対する統制状況を考慮した監査活動が行われているかの判断基準

6.　第三者機関に委託する費用に対する執行部門の理解

7.　その他（自由記述）

　　8．特にない

（全員回答）

**Q23　監査役会の実効性評価を今後実施する予定はありますか。**（1つ選択）

　　　1．予定がある　　　　→Q24へ　　　　　　2．検討中　　　　→Q24へ

　　　3．その他（自由記述）→Q25へ　　　　　　4．特になし　　　→Q25へ

（Q23で1または2を選択した方）

**Q24 今後実施を予定する監査役会の実効性評価は、どのような内容ですか。当てはまるものを選択してください。**（複数選択可）

　　　1．アンケート　　　　　　　　　　2．インタビュー、ヒアリング等

　　　3．第三者機関を利用する　　　　　4．その他（自由記述）

　　　5．未定

**Ⅱ 監査活動の振り返りの開示**

（全員回答）

**Q25　監査活動の振り返りの結果は、社内に報告していますか。**（1つ選択）

　　1．報告している　　　→Q26へ

　　2．報告していない　　→Q27へ

**Q26　社内での報告先はどこですか（監査役会を除く）。**（複数選択可）

　1．取締役会

2．代表取締役等

3.　社外取締役

3．内部監査部門

4．その他（自由記述）

（全員回答）

**Q27　監査活動の振り返りについては、社外に開示していますか。**（1つ選択）

※監査活動の状況の一環として記載しているなどの場合も、「1．開示している」を選択してください。

　　1．開示している　　　→Q28-1へ

　　2．開示していない　　→Q28-2へ

（Q27で1を選択した方）

**Q28-1　監査活動の振り返りの開示媒体として、当てはまるものを選択してください。**（複数選択可）

　　1．有価証券報告書

2．自社のホームページ

3．コーポレートガバナンス報告書

4．事業報告(株主総会招集通知)

5．その他（自由記述）

（Q27で2を選択した方）→回答後は終了

**Q28-2　監査活動の振り返りについて、今後開示を予定・検討している媒体があれば、当てはまるものを選択してください。**（複数選択可）

　　1．有価証券報告書

2．自社のホームページ

3．コーポレートガバナンス報告書

4.　事業報告(株主総会招集通知)

5．その他（自由記述）

　　6．開示は今のところ予定していない

（以降はQ27(社外への開示)で「1.開示している」を選択した方のみ）

**Q29　監査活動の振り返りの開示における記載事項として、当てはまるものを選択してください。**（複数選択可）

　　1.　振り返りを実施した旨のみを記載

2. 監査役会の審議事項などの1つとして記載

3．振り返りの目的、意義等

4．振り返りの評価方法（アンケート、インタビュー等）

5．振り返りの評価項目

6．振り返りの結果

7．課題・改善点等

8．次期の監査計画・重点監査項目等への反映

9．第三者機関の利用

10．その他（自由記述）

**Q30**　**監査活動の振り返りについて社外に開示したのはどのような理由からですか。**(複数選択可)

1. 投資家等の社外のステークホルダーに監査役会が実効性向上に取り組んでいる

ことを説明するため

2. 監査役会が取締役会に劣らず実行性の向上に努めていることを強調するため

3. 監査役会の取組みとして開示することが重要だから

4. その他（自由記述）

振り返りへのアンケートは以上です。

Q1で「3．特段の活動は行っていない」方への質問

以降はQ1で「3．特段の活動は行っていない」を選択した方がご回答ください。

**（2）今後の実施予定について**

**Q2　現在、監査役会の実効性評価や監査活動の振り返りを実施していない理由はありますか。近いものを選択してください。**（複数選択可）

　　1．実施する必要性が高くないため（小規模会社であるため、監査役等が1名であるためなど）

2.　実効性評価や振り返りの実施は法令やCGCで特に要請されていないため

3. 実効性評価や振り返りの実施方法がわからないため

4. アンケートの作成や評価作業を行うリソースがないため

　　5．親会社の実効性評価や振り返りに含まれているため

　　6．その他（自由記述）

**Q3　今後、監査役会等の実効性評価または監査活動の振り返りを実施する予定はありますか。**（1つ選択）

　　1．監査役会等の実効性評価の実施を予定している（検討している）

2．監査活動の振り返りの実施を予定している（検討している）

3．検討中

4．特にない

アンケートは以上です。

ご協力ありがとうございました。